1　14版　昭和25年3月27日　第三種郵便物認可

産経新聞

令和5年(2023)日刊28995号
10|25[水]
産業経済新聞(サンケイ)
THE SANKEI SHIMBUN
発行所 ©産業経済新聞東京本社2023
〒100－8077東京都千代田区大手町1-7-2
東京(03)3231-7111(大代表)

購読のお申し込み、
配達・集金などのお問い合わせ 0120-34-4646
(全日 7時～21時)
https://reader.sankei.co.jp/reader/
紙面・記事へのご意見・ご感想 0570-046460
(平日10時～17時、土・日・祝日休み)
u-service@sankei.co.jp

朝の詩(うた)

くつべら

兵庫県播磨町
金曽 和子
63

ないと靴を履くとき
モタモタするが
あると一瞬で
足が靴の中に入る
シンプルながら
カーブの作りが絶妙
誰のかかとにも合う
最高の必需品
もっと気づいて
褒めてあげたい

(選者 八木幹夫)
=14面に9月「月間賞」

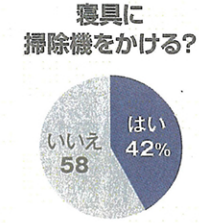
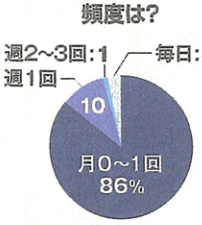
寝具も掃除機かけて　床の4倍超のダニ

寝具には床の4倍超のダニがいる―。暮らしに関する調査研究を行うエフシージー総合研究所（東京）が今月、こんな調査結果を明らかにした。

令和3～4年に関東地方の住宅40軒で寝室のほこりを採取して、アレルギーの原因となるダニの死骸やふん（アレルゲン）の量を測定。すると床のほこりには1グラム当たり平均437個、寝具には同1933個と、約4倍のアレルゲンが含まれていた。

また、4年までに調べた84軒のうち64％の家庭では、寝具のほこりに含まれるアレルゲン量が国際的基準値（1グラム当たり2マイクログラム）を超えていた。基準値超えの寝具を使い続けると3～4カ月で、ダニアレルギー体質になるレベルまで体内にアレルゲンが蓄積される可能性があるという。

ダニは高温多湿の環境を好み、繊維やほこりの中に潜り込むため、就寝中に体からの汗を吸う寝具の中で生息しやすい。

対策としては、寝具に直接、掃除機をかけることが有効とされる。しかし平成28年～令和4年の同総研のアンケートでは、寝具に掃除機をかける人は全体の42％にすぎず、頻度を聞くと86％が月に0～1回と答え、日常の習慣にはなっていなかった―グラフ。

調査にあたった橋本一浩さんは「ダニ対策には、少なくとも2日に1回は寝具に掃除機をかけてほしい。防ダニシーツや布団乾燥機の使用、週1回以上シーツを洗濯することも有効です」と呼び掛けた。